

2026年3月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年11月13日

上場会社名 ワンビ株式会社

上場取引所

東

コード番号 5622

URL <https://www.onebe.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 貴

問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 荻原 裕英 (TEL) 03(6856)-4814

中間発行者情報提出予定日 2025年12月26日

配当支払開始予定日

—

中間決算補足説明資料作成の有無 : 無

中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期中間期の業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	288	22.0	102	86.1	103	87.4	67	94.2
2025年3月期中間期	236	1.8	55	7.1	55	7.3	35	△1.6

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	104. 56	99. 75
2025年3月期中間期	53. 85	51. 33

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	977	455	46.6
2025年3月期	949	387	40.8

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 455百万円 2025年3月期 387百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	0. 00	0. 00	0. 00
2026年3月期	0. 00		
2026年3月期(予想)		0. 00	0. 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	539	5.0	93	△19.5	93	△19.7	61	△22.8	94. 74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	650,000株	2025年3月期	650,000株
2026年3月期中間期	－株	2025年3月期	－株
2026年3月期中間期	650,000株	2025年3月期中間期	650,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(修正再表示)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当中間会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国の経済状況は、堅調な雇用環境や個人消費の持ち直しなどにより、緩やかに回復しているものの、物価高による実質賃金の減少が続く一方で金利は上昇傾向にあり、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

また、世界経済は、米国による一連の関税措置が世界各国の経済や貿易政策に混乱をもたらしましたが、主要国間での一定の合意が進展してきており、先行きの不透明感が徐々に緩和し底堅さが維持されました。しかしながら、今後も米国トランプ政権による保護主義的な貿易政策等により不確実性は増してきております。

このような状況の中、当社が属するIT業界は、IoT、AIを活用したITサービスの進展、クラウドサービスやセキュリティ対策、DX推進など、企業等の事業拡大や競争力強化に向けた戦略的なIT投資は引き続き活発な状況が続いております。

当社は主力製品である「TRUST DELETE」シリーズを中心に、モバイルパソコンの情報漏えいや不正利用を防ぐためのWindowsに特化した製品として、様々な業種の企業や官公庁、公共団体などのお客様に提供する事で収益力拡大に努めて参りました。また、2025年1月には株式会社アイキューブドシステムズの連結子会社となり、iOS及びAndroid端末等のPC資産管理市場への事業拡大を図るべく、協業の検討を進めてまいりました。

この結果、当中間会計期間の業績は、売上高288,700千円(前年同期比22.0%増)、営業利益102,543千円(前年同期比86.1%増)、経常利益103,269千円(前年同期比87.4%増)、中間純利益67,964千円(前年同期比94.2%増)となりました。

なお、当社は情報漏えい対策ソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載をしておりません。主な製品またはサービス別の状況は、次のとおりであります。

当中間会計期間（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

(単位：千円)

		顧客との契約から 生じる収益	前年同期比 (%)
製品または サービス別売上高	TRUST DELETE製品	271,310	123.0%
	データ消去・証明ビジネス	9,438	126.6%
	保守	5,030	63.9%
	開発	1,840	—
	その他	1,080	186.1%
合計		288,700	122.0%

(注) 開発の売上高の前年同期比については、1,000%を超えるため記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末における資産合計は977,225千円となり、前事業年度末と比較して27,455千円増加しました。この主な要因は、現金及び預金が24,163千円、前払費用が7,894千円増加した一方で、繰延税金資産が8,245千円減少したためであります。

(負債)

当中間会計期間末における負債合計は522,006千円となり、前事業年度末と比較して40,508千円減少しました。この主な要因は、賞与引当金が9,174千円、契約負債が8,722千円、未払法人税等が7,782千円、役員賞与引当金が7,500千円、未払金が7,111千円減少したためであります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は455,219千円となり、前事業年度末と比較して67,964千円増加しました。この要因は、中間純利益計上により利益剰余金が67,964千円増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます）は、前事業年度末と比較して24,163千円増加し、816,606千円となりました。

当中間会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、24,853千円の収入となりました。（前年同期は80,653千円の収入）

これは、税引前中間純利益の計上による収入103,269千円に対し、賞与引当金の減少による支出16,674千円、契約負債の減少による支出8,722千円、前払費用の増加による支出7,658千円、未払金の減少による支出7,111千円、売上債権の増加による支出5,137千円が主な要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、689千円の支出となりました。（前年同期は260千円の支出）

これは、無形固定資産の取得による支出649千円、差入保証金の差入による支出40千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローに係る取引はなく、前期末と比較して資金の増減はありません。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、公表した通期業績予想の変更はございません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当中間会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	792,442	816,606
売掛金	123,413	128,550
前払費用	3,054	10,949
その他流動資産	20	108
流動資産合計	918,931	956,215
固定資産		
有形固定資産		
建物	770	770
工具器具備品	308	308
減価償却累計額	△1,004	△1,024
有形固定資産合計	73	54
無形固定資産		
ソフトウェア	4,707	2,691
ソフトウェア仮勘定	—	649
無形固定資産合計	4,707	3,340
投資その他の資産		
差入保証金	1,560	1,600
長期前払費用	669	433
繰延税金資産	23,827	15,581
投資その他の資産合計	26,056	17,614
固定資産合計	30,838	21,010
資産合計	949,770	977,225

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,787	4,662
未払金	10,377	3,265
未払費用	21,782	21,278
未払法人税等	34,842	27,059
未払消費税等	12,937	13,361
賞与引当金	20,092	10,917
役員賞与引当金	15,000	7,500
契約負債	291,560	280,324
その他流動負債	1,703	1,691
流動負債合計	413,084	370,061
固定負債		
契約負債	149,141	151,654
資産除去債務	290	290
固定負債合計	149,431	151,944
負債合計	562,515	522,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	67,000	67,000
資本剰余金	50,000	50,000
利益剰余金	270,254	338,219
株主資本合計	387,254	455,219
純資産合計	387,254	455,219
負債純資産合計	949,770	977,225

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	236,618	288,700
売上原価	69,600	74,045
売上総利益	167,017	214,654
販売費及び一般管理費	111,926	112,111
営業利益	55,090	102,543
営業外収益		
受取利息	21	480
雑収入	16	246
営業外収益合計	37	726
営業外費用		
支払利息	25	—
営業外費用合計	25	—
経常利益	55,102	103,269
税引前中間純利益	55,102	103,269
法人税、住民税及び事業税	15,392	27,059
法人税等調整額	4,707	8,245
法人税等合計	20,100	35,305
中間純利益	35,001	67,964

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	55,102	103,269
減価償却費	2,849	2,035
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,917	△16,674
受取利息及び受取配当金 (△は減少)	△21	△480
支払利息	25	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△28,037	△5,137
前払費用の増減額 (△は増加)	△4,935	△7,658
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,860	△125
未払金の増減額 (△は減少)	△5,869	△7,111
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,434	△503
契約負債の増減額 (△は減少)	77,733	△8,722
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,392	423
その他	△1,887	△99
小計	83,138	59,215
利息及び配当金の受領額	21	480
利息の支払額	△25	—
法人税等の支払額	△2,480	△34,842
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,653	24,853
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	—	△649
差入保証金の差入による支出	△260	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△260	△689
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△8,102	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,102	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	72,291	24,163
現金及び現金同等物の期首残高	503,384	792,442
現金及び現金同等物の中間期末残高	575,675	816,606

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、情報漏えい対策ソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。